

## 小学校配置に関する深川市民の意見を聴く会【結果】

日時：令和6年11月12日（火）

午後7時2分～8時6分

場所：あけぼのコミュニティセンター

### ■参加者 15名

（保護者7・学校運営協議会委員4・市議会議員1・校長及び教頭2・その他1）

教育委員会：三浦教育長・轡田教育委員・伊藤教育部長・佐藤学務課長・

星野学務課長補佐・山崎管理係長・下川主任

市長出席

### ■司会進行 伊藤教育部長

#### 1. 教育長挨拶

#### 2. 資料説明（山崎管理係長）

- ・資料1～小学校配置に関する深川市民の意見を聴く会
- ・資料2～小学校別学級数及び児童数推計
- ・別添1～深川市学校配置基本方針
- ・別添2～深川市学校配置基本方針に基づく小学校に係る対応について

#### 3. 意見交換

※以下の記録は要点を整理した概要であるとともに、個人に関する内容や単純に資料を確認する発言などは省略しています。

○保護者～資料にある将来推計では令和9年度に入学児童が0とあるため、少子化の流れをまともに受けていると感じています。個人的な意見としては、自分の子どもには北新小を卒業してもらいたいですが、子どもの数から考えて将来的に廃校になってしまうことは仕方ないと思っています。

もし、納内小や多度志小が一已小に統合するとなった場合は、一緒に北新小も統合して欲しいと思います。

話しは少し逸れますが、なぜ深川市に子どもが少ないのかと言えば、子ども達が魅力を感じる遊ぶ場所がないとか、ファストフード店がないとかだと思っています。そうした理由から滝川・札幌・旭川に人は流れていくのではないかと感じていますので、市としても対策を考えて欲しいです。

○保護者～現在の北新小の1年生は2人しかいません。2キロメートル先にある一已小には、たくさん子どもがいるので、離島ではないのだから一日でも早く統合して欲しいです。

自分自身の経験から少人数の教育を受ける中で良いところもたくさんあることは理解していますが、子ども達が多ければ、仲の良いグループもいくつかあって、どこかのグループで上手くいなくても、他のグループの子ども達と仲良くするなど、人間関係のごちゃごちゃを学ぶことができるのも学校だと思っています。

子ども達にとって、そうしたことを経験できないまま成長するのは、子ども達

の将来を考えた時に良くない状況だと思っています。

例えば、同級生が2人だけでは、仮に喧嘩などのトラブルがあった場合、もう一度やり直すのが難しい環境です。仲たがいたら終わってしまうのです。

地域の方々は、学校が無くなると寂しくなるため残して欲しいと言いますが、私は子ども達の将来を一番に考えれば統合した方が良いと思います。

○保護者～同じく1年生についてですが、2人しかいないため喧嘩しないように気を使っていることや譲り合うなど、どうしても控えめなところがあります。このほか、一人が休むと先生とマンツーマンになるため、子どもは寂しい思いをしていると思います。

先ほども話題となった深川の現状についてですが、子ども達が魅力を感じ楽しく遊べる環境が少ないことや、子ども服が売っている場所が1か所しかないというのは悩ましい状況です。

そうした状況が解消されれば、深川に住んでもいいのかなと考える人も出てくると思います。

○保護者～現在、4年生は6人います。この前、公園で男子3人が野球をして遊んだそうです。一人が投げて、一人が打って、一人がボール拾いということがずっと続きます。これが大きな学校の子どもであれば、野球の遊び方も違う状況になると思うので、もっとたくさんの子と触れ合わせてあげたいです。

2人しかいない1年生については、運動会において一方は勝ちが続き、もう一方は負けが続いてしまう状況もあるので、勝つことの喜びや負けることのくやしさをそれぞれの子どもが知ることができずに育ってしまうことは問題だと思っています。

先ほど多度志小や納内小と同じようなタイミングで統合した方が良いとの意見がありましたが、私は北新小だけでも他校よりも早く統合して欲しいです。

○保護者～少ない人数からいきなり大人数となる中学校に入っていくことは、子ども達に不安を感じさせるため、なるべく早い段階で大人数の中で成長させてやりたいと考えています。

○学校運営協議会委員

～私の育った時代は子供の数がとても多く、兄弟同士でよく喧嘩もしました。上の子が下の子の面倒をみるということが当たり前でした。そうやって育ってきた時代です。

今の時代は子どもが少ないため、家庭の中でも大切に育てられていると思いますが、一方で喧嘩をするような機会も少ないと思いますし、そうした要因が未成年による重大事件の増加といった社会問題につながっているとテレビで見ました。

たくさんの子どもの中で育つことも大切だと思いますが、家庭環境や家庭での教育が重要だと思いますので、まずは家庭内で子ども達を十分に気遣って欲しいです。

それと、そもそもは少子化が問題なので、もっとたくさん子どもを産んで欲しいし、市には支援策を進めて欲しいと願っています。

#### ○学校運営協議会委員

～私の子どもはみんな成人しているため、学校と触れ合うことはありませんでしたが、学校運営協議会委員となったことで改めて北新小に関わることになりました。

その中で感じていることとしては、少人数というだけあって先生が一人ひとりに対して十分に目をかけてくれるので、複式学級であっても丁寧な教育が受けられることがとても良いと思っていました。

#### ○保護者～資料にある将来推計では、令和7年度の北新小が3人、納内小が0人、多度志小が1人の入学者数となっており、この子どもたちが一已中に上がる際には、小規模校から4人しかいないということになります。

少人数の良さという部分は理解していますが、現状や将来推計などを見たときに、さすがに子どもの人数が少なすぎると感じています。

また、北新小の校舎もかなり古く、外壁も黒ずんでいるため、今後も継続していくのであれば、改修なども考えて欲しいと思います。

#### ○保護者～市の財政状況がよくないということは分かっていますが、公園の遊具が2年くらい壊れたままとなっており、子ども達が楽しく遊べる状況になっていません。遊具を直すことができないほど財政の状況が悪いのであれば、現状の学校数で存続するのはどうかと思います。

北新小を維持するよりも、統合して廃校となった地区にスクールバスを用意した方が経費は安いと思います。

今後の入学者数を見ると令和9年度に北新小の入学者が0となるため、それまでに統合した方が良いでしょう。

#### ○学校運営協議会委員

～統合は止むを得ないことだと思いますが、今後、市として企業誘致を進め雇用の場を確保するなど、人口減少への対策を考えて欲しいです。

現在、私の子どもは大学生と高校生になりますが、二人とも北新小を卒業したため、仮に統合となれば悲しいです。

子ども達は、北新小から一已中に進学しましたが、そこには既に一已小の時からあるグループがあり、うちの子はなかなか馴染めなかったようでした。そうした流れが市内高校に上がってもあるようなので、北新小と一已小の子ども達が打ち解けるような対策を取りながら統合に向けて動いて欲しいです。

#### ○学校運営協議会委員

～少子化が進むため、今後、北新小だけでなく、納内小や多度志小も含めて小規模校は統合を避けられないだろうと思います。これまでPTAや学校運営協議会委員として活動してきた中で把握したのですが、一已中に上がった後、小規模校出身の子どもが不登校になったという事例を聞いていますので、児童生徒のケアをしっかりとって欲しいです。

このようなことから、仮に統合が進むとなった場合は、小規模校にいた先生を統合先の小学校へ赴任させることや、先ほども意見としてあった小学校間の交流により、上手にコミュニティに入る手立てを講じて欲しいと思います。

ちなみに私の子どもが北新小にいた時は同級生が4人いて、当時の学校内では

4人のクラスが一番小さく、他の学年の方がもう少しでした。

現在では少子化が進み、4人という人数は普通になった感じがしました。

先ほど少人数の場合は、丁寧な教育が受けられることが良いという話が出たとおり、私もうちの子が4人のクラスだった時、同じように考えていました。

ただ、私の子ども達は既に卒業し、現在、私は保護者という立場ではなく、地域の人間という立場での発言となります。

このことから、本来は地域に学校を残して欲しいという発言をした方がいいのかもしれませんが、今の1年生が2人という状態は、流石に少なすぎるし、度が過ぎるため、市には特に保護者の意見を聞いてもらい進めて欲しいです。

現時点ではたられればの話なので、実際に統合した場合、どのように環境が変わるのか分からない部分が多いため、教育委員会から例を示してもらえれば分かりやすいと思います。

○学校運営協議会委員

～北新小学校区に住んでいる場合でも一巳小に通うことはできるのでしょうか。

○教育委員会

～現在のルールでは、特殊な事情がなければ一巳小に通学することはできません。

○学校運営協議会委員

～1年生が2人しかいないため、少なすぎるという理由で一巳小に就学することはできますか。

○教育委員会

～現在のルールでは、そのような理由を認めるといった規定にはなっていないため一巳小に通学はできません。

○保護者～この会を開いて終わりにはしないで欲しいです。

○保護者～もし統合する場合、最短でどのくらい時間がかかるのでしょうか。

○教育委員会

～教育委員会としてはシミュレーションしているわけではないため、はっきりとしたことは言えませんが、資料1にあるとおり中学校を統合したときは平成21年6月から協議を開始し、平成26年4月から市内2校体制で開始しています。

ここまで長くなることはないですが、検討には地域との協議が必要となりますので、ある程度時間を要することになります。

○保護者～もし、統合した場合は、江部乙でスタートアップ企業が入った例のように有効活用して欲しいです。

○保護者～子ども達には統合について意見を聞いたりしないのでしょうか。

○教育委員会

～現在、決まっているものはありませんが、今回、全地区の意見を聞いた後にい

ただいた意見を踏まえて、今後の検討をしたいと思います。

○学校運営協議会委員

～他の市町村から児童を呼び込むことはできないのでしょうか。

○教育委員会

～小中学校は市立となりますので、住所が他市町村にある場合は基本的に深川市の学校に通うことはできません。例外として、引っ越しが決まっているけれど、年度途中での転校は望まないため、年度末まで在籍するといった特殊な事情がある場合は認めています。

○その他の参加者

～先ほどから校区に関する規定について話題となっていますが、この規定は誰が決めていて、変更が可能なのかどうなのかと、可能である場合、どういった手続きが必要となるのか教えて欲しいです。

○教育委員会

～校区については、深川市立学校通学区域規則により決定していますので、変更を行うのも深川市となります。さまざまな立場や考え方があるため、個人の意見では変えることはできませんが、このような会において出された市民の皆さんからの意見などを参考にして決めていくこととなります。

○保護者～資料にある過去のスピードであれば、今の1年生が5・6年生になってから統合になってしまうので、それだけ時間がかかるのであれば通学校区のルールについて柔軟に対応して欲しいです。

○教育委員会

～ご意見として受け止めさせていただきます。先ほどもお伝えしたとおり、仮に統合となった場合、資料にあるような時間はかからないと思います。

なお、小規模校の保護者から多い人数で学ばせてほしいとの要望を受けていることから、現在、小小連携ということで北新小と多度志小が連携し授業などを行っています。

○保護者～今後は、小規模校同士の連携よりも一已小と小規模校との連携をお願いしたいです。

○教育委員会

～一已中校区内のなるべく低学年から連携を行っていけるよう学校と検討したいと思います。

○保護者～話は変わりますが、食育について意見があります。あけぼの幼稚園では田植えや稲刈り体験をしていますが、北新小に入ると5・6年生まで稲作に関する体験授業がないため、市も日本一の米のまちを打ち出しているのです、ぜひ低学年のうちから食育として農業体験を授業に取り入れて欲しいです。

○教育委員会

～貴重なご意見ありがとうございました。皆様からのご意見を集約いたしまして、今後どのような方向で持っていくのか十分精査していきたいと思っております。

以上をもちまして、本会を終了したいと思います。

以上